



学校だより

4月号(第222号)
令和8年4月7日発行
横浜市立並木中央小学校

誰もが育つ学校へ

校長 齋藤 由美子

正門のピンクと白の桜が満開となりました。この木が、学校のキャラクター「さくりん」の由来となっていることが、昨年創立20周年では、何度も話題になりました。春休みに満開の下を通る度に「これだね!」と、嬉しい気持ちになりました。

さて、お子さんのご入学・進級おめでとうございます。今年度は個別支援学級が1クラス増え、6学級となりました。一般学級も含め、18学級でのスタートです。

本校は、「自ら考え行動し、人と豊かに関わり合う子ども ～言葉でつながる中央小～」を学校教育目標に掲げ、今年度も ①主体性②問題解決力③話す力・聞く力④コミュニケーション力 が身に付くよう教育活動に努めます。また、たてわり活動を通して、6年生をリーダーとして育て、その姿を下学年がモデルにしながら成長できるように支援していきます。

学校は、子どもたちだけが育つ場所ではありません。教職員も然りです。経験の浅い教職員は、先輩の指導を見習いながら指導力の向上に努めます。中堅、ベテラン教職員は、若手の人材育成の他にも、学校全体のことも視野に入れながら仕事ができるよう頑張っています。子どもも大人も誰もが育つ学校となるよう、令和8年度も教職員一丸となって教育活動に邁進します。

最後に、以前より全国的な教職員不足が問題となっておりますが、今年度は、本校も教職員に欠員が発生しております。しかし、教職員で知恵と力を出し合いながら、安全・安心の学校の実現に向け、尽力して参ります。同時に教員のワークライフバランスを大切にしながら働き方改革を継続し、教職員の心身の健康管理に努めます。全ては、子どもたちの幸せに返ることと考え、頑張ります。

今年度も保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

中央小ライフのページでは、本校でねらっている資質・能力のキーワードを意識してお読みくださると幸いです。
(本校でねらう資質・能力： 主体性・問題解決力・話す力・聞く力・コミュニケーション力)